

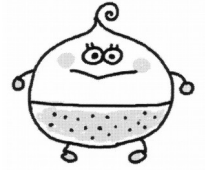
ごみゼロネット推進会（第16回）議事録

開催日： 2009年（H21年）12月14日（月）10:00～12:00

場所： ウエスト

出席者： 平林、市原、杉本、大橋、加賀谷、桐生（作成）

議題：



1. 当会としての推奨システムHDMを実証運転に持ち込むための方策検討

- 小金井市はごみ処理に15万円/トッかけている。PFI方式による市民のイニシアティブでこの処理費用で生ごみの処理を請け負い、実証設備を運営することを提案したい。PFIであれば行政は反対できないので実現性が高い。売上とコストの差額は行政に返還すれば市民のごみ処理費用が低減できる。（平林）
- HDMでの生ごみ処理コストは2000数百円/トッ台と桁違いに低廉になるが、行政が現状の処理費をくれる筈がない。（市原）
- PFIとHDMを絡めると、PFIノーとなってHDMも道連れで駄目になる可能性が高い。HDMを推進するためのもっと現実的な進め方を選びたい。（大橋）
- 久喜市にはごみ対策課はない。HDMを運営しているのは組合である。市民と大変な回数話し合いを持って実現に漕ぎ着けたという。実現に向けての推進方法も教えてもらってはどうか。（杉本）
- 何年か後に国分寺市と共同でごみ処理施設を作るという計画とHDMの実証運転は別物だということを明確にしておく必要がある。（平林）
- 行政が乗ってこない時は陳情書を作成し、市民の署名を集めて市に提出すれば、必ず市議会に掛けなければならなくなる。そのために、行政に見せられる事業計画書を作成せねばならぬ。（市原）

結論：（1）加賀谷氏にHDM実証運転事業計画書ドラフトを作成していただく。期限は次回例会まで。

- （2）施設設置場所候補は①新小金井駅隣地、対象は団地約105所帯、②ジャノメ跡地、対象はエアーズシティ
- （3）事業計画書の内容は、①目的、②ごみ収集方法、③敷地内のヤードプラン、建物内レイアウト、設備内容と人員計画、④費用分析、⑤事業の運営母体の組織、役割分担等。
- （4）関係各位はHDMは「非焼却」ではなく、「ごみ減量化」であることを強調して進めること！
- （5）前項に基づいて、市原氏に稲葉市長と「HDM実証運転事業の具体化」を話し合う場を設けていただく。

2. 小金井地域の環境関連団体の連合体化計画（平林）

各団体の力を結集してHDM実証運転に持ち込むために、各団体の連合体を作り、共同作戦を実行する必要がある。（平林）……本提案は全員一致で賛成。

結論：（1）各団体とそのキーマンは次の通り：①東部の環境を良くする会…朝倉氏（元共産党市議）、②加藤氏（ごみゼロ化推進会議・啓発部会長）、③元木氏（ごみゼロ化推進会議議長）、④平林氏、⑤大橋氏、⑥市原氏

（2）平林氏が発起人となって「ごみ関連団体キーマン会議」を招集して、今後の協働活動の方向付けを協議する。

年内にキーマンたちに声かけして、明年1月に会合予定。

3. 来年1月10日のシンポジウムの進捗状況説明（市原）

日時：2010/1/10 13:30～16:30、場所：国分寺Lホール（国分寺駅ビル8階）／堀内先生が総合司会／HDMの熊谷清掃社をゲストに呼んでいる／加藤氏に炭素化のお話しをしていただく予定、他

4. サイト「ごみゼロネット」のHDM及び「シンクピア」関連記事の映写紹介（大橋、加賀谷）

5. その他

平林氏の「行政刷新会議」への働きかけ、桐生より「国家戦略室」への働きかけについて説明があった。

以上

次回打合せ 日時：1月18日（月）14：00～16：00／場所：公民館東分館 生活室

1／1